

平成31年度

学 生 募 集 要 項

[一般入試]



宮 崎 大 学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

- ・高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。
- ・生命や環境保全の科学に親しむとともに、広く自然や社会に触れ、現場から学ぶ態度を育成する。

2. 社会性・国際性の教育

- ・社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積極的に貢献できる課題解決能力を育成する。
- ・柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニケーション能力を育成する。

3. 専門性の教育

- ・それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用できる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探求及び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。
- ・新たな知の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の養成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

平成31年度宮崎大学入学試験日程

(一 般 入 試)

	前 期 日 程	後 期 日 程
出 願 期 間	平成31年1月28日(月)～平成31年2月6日(水) 窓口での受付は、平日の8時30分から17時までです。 土曜日及び日曜日は受け付けません。	
試 験 日	平成31年2月25日(月) 2月26日(火)※ ₁	平成31年3月12日(火) 3月13日(水)※ ₂
合 格 者 発 表	平成31年3月7日(木)	平成31年3月21日(木)
入 学 手 続 期 間	平成31年3月15日(金) 17時まで(必着) (原則郵送)	平成31年3月27日(水) 17時まで(必着) (原則郵送)
追 加 合 格	平成31年3月28日(木) ～ 平成31年3月31日(日)	

※₁教育学部学校教育課程発達支援教育コース及び医学部のみ2月25日・26日の2日間実施となります。ただし、教育学部学校教育課程発達支援教育コース及び医学部看護学科は、受験者数によっては2月25日の1日で終了する場合があります。

※₂医学部のみ3月12日・13日の2日間実施となります。ただし、受験者数によっては3月12日の1日で終了する場合があります。

※平成30年7月豪雨により被災した志願者の入学検定料の免除について

宮崎大学では、被災した志願者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、平成30年度に実施する学部及び大学院入学試験等において、下記のとおり特別措置を講じることを平成30年10月4日付けで決定しました。

該当する志願者の方で、特別措置を希望する場合は、所定の手続きが必要となりますので事前に学生支援部入試課までご連絡ください。

記

1. 特別措置の対象となる入学試験

平成30年度に実施する本学の入学試験。ただし、本特例措置決定より前に、既に出願期間を満了している入学試験は除きます。

2. 措置内容

入学検定料の全額免除

3. 免除の対象者

免除対象となる入学者選抜の志願者で、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が「平成30年7月豪雨」により被災し、次のいずれかに該当する者

(1)本人又は学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合

(2)学資負担者が死亡した場合

4. 申請方法

申請希望者は、必ず1月8日(火)までに学生支援部入試課に所定の申請書を必要書類とともに提出してください。

5. 結果通知について

1月25日(金)までに結果通知と併せてパスワードを通知しますので、それをもってインターネット出願登録を行ってください。

6. 申請書類

(1)入学検定料免除申請書(様式は <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html> よりダウンロードしてください。)

(2)被災証明書(コピー可)(上記3の(1)に該当する方)

(3)死亡又は行方不明を証明する書類(コピー可)(上記3の(2)に該当する方)

(4)その他(学資負担者が所有する自宅家屋であることを示す書類等を求めることがあります。)

7. 連絡先・提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学学生支援部入試課

電話 0985-58-7138 FAX 0985-58-2865

目 次

1	学部のアドミッション・ポリシー	1
2	募 集 人 員	1 3
3	出 願 資 格	1 4
4	出 願 手 続	
(1)	インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い	1 4
(2)	提 出 書 類	1 4
(3)	提 出 方 法 等	1 5
(4)	提 出 先	1 6
(5)	提出書類（出願書類）の受付期間	1 6
(6)	障がい等のある入学志願者の事前相談	1 8
5	教育学部，工学部及び農学部における第2志望について	1 9
6	受験票の印刷及び選択科目の確認	1 9
7	第1段階選抜による結果通知	1 9
8	選 抜 方 法	1 9
9	入学者選抜の実施教科・科目等	
(1)	教科・科目名の表記について	2 0
(2)	教 科 ・ 科 目 等	2 1
(3)	小論文，面接の採点・評価基準	2 8
(4)	合 否 判 定 基 準	2 9
(5)	第2志望選抜方法	3 0
(6)	個別学力検査（英語）の免除及び加点について	3 1
1 0	試験日程，試験場及び受験上の注意事項等	3 2
1 1	一般入試（前・後期日程）の入学試験問題について	3 5
1 2	個別学力検査会場（農学部及び地域資源創成学部）について	3 6
1 3	合 格 者 発 表	3 7
1 4	追 加 合 格	3 7
1 5	欠員補充第2次募集	3 7
1 6	出 願 状 況	3 7
1 7	大学入試センター試験受験教科・科目の確認	3 8
1 8	入 学 手 続 等	
(1)	入学手続期間	4 2
(2)	入学手続方法	4 2
(3)	納 入 金	4 2
(4)	入学手続時の必要書類	4 2
(5)	追加合格者の入学手続	4 2
(6)	入 学 料 免 除	4 3
(7)	入学料徴収猶予	4 3
(8)	授業料免除及び徴収猶予	4 3
(9)	奨 学 金	4 3
(10)	教育用ノート型パソコンの必携について	4 3
(11)	在学中の保険制度について	4 4
(12)	学生寮（寄宿舍）への入居	4 4
1 9	個人情報の取扱いについて	4 5
2 0	入学試験成績の情報開示（一般入試）	4 6
2 1	統 計 資 料	4 7
2 2	試 験 場 配 置 図	4 9

※学生寮（寄宿舍）への入居を希望する者は「18 入学手続等」を必ずお読みください。

1 学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育学部

課程・コースのアドミッション・ポリシー

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学 校 教 育 課 程	小 中 一 貫 教 育 コ ー ス	<p>小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目標としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)と児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらをしっかりと身につけるべく一層の努力を怠らない人材を求めています。</p> <p>2. 入学選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試(前期日程・後期日程)</p> <p>高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2)a 推薦入試(小学校主免専攻)</p> <p>高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>面接では教職への意欲、「協調性」について評価します。</p> <p>推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>2)b 推薦入試(中学校主免専攻、専門学科枠)</p> <p>高等学校専門学科等での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さないかわりに、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>面接では教職への意欲、「知識・技能」、「協調性」について評価します。</p> <p>小論文では教職への意欲、「思考力」、「表現力」について評価します。</p> <p>推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>3) A0 入試(中学校主免専攻)</p> <p>得意とする教科を有し、入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し、大学入試センター試験を課した上で、面接、各教科の定める個別審査、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>大学入試センター試験では「知識・技能」について評価します。</p> <p>面接、自己推薦書、志望理由書及び実技・活動等に関する調書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>各教科の定める個別審査では、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>4) 帰国子女入試</p> <p>帰国子女に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>
	教 職 実 践 基 礎 コ ー ス	<p>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能(以下、「知識・技能」)を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力(以下、「思考力・表現力」)を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性(以下、「協調性」)を持っている人を求めています。</p>

課程・コース		課程・コースのアドミSSION・ポリシー	
教職実践基礎コース		2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。 面接では「協調性」、教職への意欲について評価します。 小論文では「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、「思考力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。 4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。	
		3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。	
学校教育課程	子ども理解専攻	子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目的としています。	
		1. 求める学生像 子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもへの教育に対する意欲にあふれ、（教職に必要なたしか知識・技能（以下、「知識・技能」））について研鑽を積み、（目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」））と（児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」））と（学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」））を身につけるための努力を怠らない人材を求めています。	
		2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を総合的に判断します。 大学入試センター試験と個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力」について評価します。 面接では、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「思考力・主体性」、「協調性」、「表現力」、教職への意欲について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。 4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。	
特別支援教育専攻		3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。	
		特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。	
		1. 求める学生像 特別支援教育専攻では「特別支援教育に対して意欲（以下、「特別支援教育への意欲」）」を持って取り組み、「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）」を有し、「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）」、	

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学 校 教 育 課 程	発 達 支 援 教 育 コ ー ス	「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）」を持つ人、また、「学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。
		2. 入学者選抜の基本方針
		<p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。 大学入試センター試験及び個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さず、小論文、面接、推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。 推薦書・調査書では、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p>
		3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎的学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。

(2) 医 学 部

学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
医 学 科	医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験及び面接によって多様な能力を総合的に判断します。 高等学校までに修得した基礎的な学力など理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験によって知識・技能を評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。
看護学科	3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、日本留学試験、個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心について評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。
	看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性・多様性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。
看護学科	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 後期日程で課す小論文では提示する課題を読解し、自己の見解をまとめ論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除するかわりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 小論文では提示する課題についてまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
	また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。

(3) 工 学 部

学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
環境応用 化 学 科	1. 求める学生像 環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。 1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力 2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力 3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力 そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。 したがって、本学科では次のような人材を求めています。 1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性） 2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心） 3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力） 4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解） 5) チームの一員として自分に与えられた役割を理解し、チームワークのもとで様々な問題を解決し、目的を達成することに貢献できる人（協働性）
	2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。 2) A O 入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、個人面接によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと 高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。
	1. 求める学生像 社会環境システム工学科では、技術者の基礎となる能力、土木環境工学のどの分野でも活躍できるための基礎能力、社会の要請を察知・理解して適切な行動ができる、また地球的視点から多面的に物事を考える能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、社会環境システム工学科では、自然との共生が可能な社会基盤（水道、下水道、公園、橋、トンネルなど）の構築や維持補修、交通計画や都市計画、環境保全や廃棄物処理・資源化などの技術や計画に対して熱意を持って取り組み、土木・環境分野および社会的課題に関する興味学問への関心を有し、自然科学の基礎学力に関する知識・理解と日本語と英語を基礎とした表現力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる積極的に自己学習できる主体性をもった人材を求めています。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
社会環境 システム 工 学 科	2. 入学者選抜の基本方針
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書では、表現力、学問への関心について評価します。 活動報告書では、表現力、主体性について評価します。 筆記試験では、知識・理解、思考力について評価します。 集団討論では、主体性、協働性について評価します。 個人面接では、表現力、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	センター試験で課す数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。
環境ロボ ティクス 学 科	1. 求める学生像
	<p>環境ロボティクス学科では、技術者としての倫理観、問題解決能力、専門分野で通用するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、環境ロボティクス学科では、機械・電気電子・化学およびコンピュータ等の先端技術に関連する分野、ならびにロボット、介護・福祉機器、環境制御などの設計開発と生活環境や自然環境の改善に関連する学問への関心がある人材を求めています。</p> <p>また、実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力、数学、理科、英語に関する知識・理解、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる主体性がある人材を求めています。</p>
	2. 入学者選抜の基本方針
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 筆記試験では、知識・理解と思考力を評価します。 集団討論では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうか、グループ内で意見集約できるかどうかを調査します。それによって、協働性を評価します。 個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。
機械設計 システム 工 学 科	1. 求める学生像
	<p>機械設計システム工学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、機械設計システム工学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p>
	2. 入学者選抜の基本方針
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
機械設計システム工学科	<p>2) A O入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>調査書では、数学及び理科の基礎的な知識・理解について評価します。</p> <p>自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>集団討論では、協働性を評価します。</p> <p>個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
電子物理工学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>電子物理工学科では、現代産業の発展に寄与できる科学技術者の育成を目的とした教育を行います。特に、太陽光発電やエネルギー計測といった最先端の産業分野に象徴される高度技術社会に対応できる人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで電子物理工学科では、自然科学や科学技術に対する強い関心とそれらを生かして将来社会の役に立つ意欲がある人、数学や物理などの基礎的な学力を有し持続して勉学に取り組むことができるとともに課題の解決へ向けて積極的に行動できる人、基礎的な英語力を持ち日本語での講義を理解できる人を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程）</p> <p>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) A O入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって総合的に判断します。</p> <p>調査書では、知識・理解を評価します。</p> <p>自己推薦書及び活動報告書では、自然科学や科学技術への関心度や学校内外の様々な学習成果や活動実績・資格等を審査します。それによって、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>筆記試験では、高等学校等で学習する内容に対する知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>集団討論では、協働性について評価します。</p> <p>個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
電気システム工学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り組み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもって社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的な学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程）</p> <p>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) A O入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。</p> <p>A O入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>調査書では、知識・理解について評価します。</p> <p>自己推薦書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電 気 システム 工 学 科	<p>活動報告書では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 集団討論では、協働性について評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心进行评估します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
情 報 システム 工 学 科	<p>1. 求める学生像</p> <p>情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p>
	<p>2) A O 入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</p>
	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心进行评估します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

(4) 農 学 部

学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	植物生産環境科学科では、安全・高品質な農・園芸作物の安定供給に対して熱意を持って取り組み（主体性）、自然現象に対する強い知的好奇心と自然環境に配慮した農業生産に対する関心（学問への関心）を有する人、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎的学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を地域・社会に還元することができ（協調性）、国際的な視野と責任感を有する人を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心进行评估します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。 4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。 5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心进行评估します。
森林緑地環境科学科	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	数学、理科、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
	森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	森林緑地環境科学科では、森林・緑地の環境保全と生態系の修復、森林資源や水資源の循環的・安定的利用に対して熱意を持って取り組み（主体性）、森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を持つ（協調性）人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心进行评估します。 3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心进行评估します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地環境科学科	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	理科、数学、外国語など、高等学校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、勉学において自ら興味を深め課題を発見する姿勢、多様な意見を聞きながら課題解決を図る態度を身に付けておくことが望ましい。
応用生物科学科	応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学及び自然科学に関する基礎知識、応用生物学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	応用生物科学科ではバイオサイエンス分野の先端技術の獲得、食品機能の探求や環境保全に対して熱意を持って取り組み（主体性）、動植物や微生物の機能や利用に対する深い関心（学問への関心）を有し、実験結果や観察内容を深く考察し（思考力）、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる化学や生物、英語に関する学力を有する人（知識・理解）、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を応用生物学分野の技術者として社会に還元することのできる人材（協調性）を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理科についての発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協調性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協調性について評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協調性を評価します。
	4) 社会人入試 社会人に対し、面接、書類審査によって、知識・理解、主体性、協調性、思考力、表現力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協調性、主体性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
海洋生物環境学科	理科（特に化学・生物）、数学、英語、国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
	海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力、環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する力、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	海洋生物環境学科では、海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味（学問への関心）を有し、海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組み（主体性）、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる（協調性）人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心及び思考力を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解を評価します。
	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物 環境学科	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、思考力及び協調性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと 高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、表現力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
畜産草地 科学科	畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。
	1. 求める学生像
	畜産草地科学科では、資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に対して熱意（主体性）を持って取り組み、動植物に対する幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察する能力（思考力）を有し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる資質（協調性）を有する人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。
	2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心性を評価します。
獣医学科	3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心性を評価します。
	4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。
	5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。
	獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。
獣医学科	1. 求める学生像
	獣医学科では大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力を持ち（知識・理解）、自然科学に対する幅広い興味や関心を有し（学問への関心）、ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる（主体性）人材を求めています。
	2. 入学者選抜の基本方針
	1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解を総合的に評価します。
	2) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文によって、知識・理解、主体性、学問への関心性を評価します。
	3. 入学までに身に付けてほしいこと
	試験で課す理科、数学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

(5) 地域資源創成学部

学科のアドミッション・ポリシー

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
地域資源 創成学科	<p>地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・理解）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接、書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文、面接では、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心について評価し、書類審査では、知識・理解、主体性を審査します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接によって、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
	<p>入試科目として課しているかにかかわらず、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、主体性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>

2 募集人員

学部	学 科 ・ 課 程 コ ー ス ・ 専 攻 等			入試形態	入学定員	募 集 人 員									
						一 般 入 試		推 薦 入 試	A O 入 試	グローバル 人材育成 入 試	帰 国 子 女 入 試	社 会 人 入 試	私費外国 人留学生 入 試		
						前 期 日 程	後 期 日 程								
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	小中一貫教育コース ※1	小学校主免専攻	120	20		12			若干人	若干人				
			理系入試		8										
			小論文型入試			10									
		中学校主免専攻	2/3型入試		10		3	12							
			理系入試		10										
			小論文型入試			5									
		教職実践基礎コース			2/3型入試	5		5							
		発達支援教育コース	子ども理解専攻		2/3型+面接入試	7		3							
			特別支援教育専攻		2/3型+面接入試	7		3							
	小 計				120	67	15	26	12						
医 学 部	医 学 科			110	50	20	40					若干人			
	看 護 学 科			60	35	10	15								
	小 計			170	85	30	55								
工 学 部	環 境 応 用 化 学 科			58	38	12		8				若干人			
	社会環境システム工学科			53	33	15		5				若干人			
	環境ロボティクス学科			49	32	12		5				若干人			
	機械設計システム工学科			54	35	11		8				若干人			
	電 子 物 理 工 学 科			53	35	13		5				若干人			
	電気システム工学科			49	29	12		8				若干人			
	情報システム工学科			54	34	12		8				若干人			
	小 計			370	236	87		47							
農 学 部	植 物 生 産 環 境 科 学 科			52	28	14	10		(10) ※2	若干人	若干人	若干人			
	森 林 緑 地 環 境 科 学 科			52	31	11	10			若干人	若干人	若干人			
	応 用 生 物 科 学 科			57	34	12	11			若干人	若干人	若干人			
	海 洋 生 物 環 境 学 科			33	18	11	4			若干人	若干人	若干人			
	畜 産 草 地 科 学 科			61	36	15	10			若干人	若干人	若干人			
	獣 医 学 科			30	20	10					若干人				
	小 計			285	167	73	45		(10)						
創成学部	地域資源	地 域 資 源 創 成 学 科			90	55	20	15			若干人	若干人	若干人		
	小 計			90	55	20	15								
合 計					1,035	610	225	141	59	(10)					

※1 教育学部学校教育課程小中一貫教育コースでは、入学後、一つの教科を専修とします。専修とすることのできる教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭及び英語です。なお、決定方法は次のとおりです。

小学校主免専攻：本人の希望を考慮した上で、入学後に決定します。

中学校主免専攻：一般入試（前期日程及び後期日程）、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試で入学した場合、本人の希望に基づき入学後に決定します。推薦入試及びAO入試で入学した場合、出願時に選択した教科が専修となります。

※2 農学部グローバル人材育成入試の募集人員10名は、農学部一般入試（獣医学科を除く）の募集人員210名の中に含まれます。

（備考）

- 一般入試の各募集人員には、帰国子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。
- 教育学部の一般入試のうち、教職実践基礎コース及び発達支援教育コースについては前期日程のみで実施します。
- 推薦入試の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部及び農学部は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3型入試】に加えます。
- AO入試の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部は前期日程の中学校主免専攻【2/3型入試】、工学部は後期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。
- 農学部グローバル人材育成入試の入学者が募集人員に満たない場合は、一般入試（獣医学科を除く）の募集人員にその満たない人数を加えます。
- 農学部グローバル人材育成入試は日本の国籍を有しないものに限りです。

3 出 願 資 格

本学に出願できる者は、次の（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ、平成３１年度大学入学者選抜大学入試センター試験のうち本学が指定した教科・科目（第１解答科目の指定を含む。２１～２７ページ参照）を受験した者とします。

- （１）高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び平成３１年３月卒業見込みの者
- （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３１年３月修了見込みの者
- （３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３１年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記（３）に該当する者のうち、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、１８歳に達した者には入学資格を認めます。

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、宮崎大学学生支援部入試課にお問い合わせください。

なお、詳細は本学ホームページ（<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html>）にも掲載してありますので、ご参照ください。

4 出 願 手 続

宮崎大学では、平成３１年度入学試験から、インターネットを利用した出願方法に変更します。紙媒体による出願方法との併用は行いませんので、従来の冊子で配付していた学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF 形式）をダウンロードして入手又は参照してください。

本学に入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。

（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料１７,０００円（別途、払込手数料６４０円）の支払い（以下「インターネット出願登録」という。）が必要となります。

＜インターネット出願登録サイト＞

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/internet-application.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ＡＴＭ、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要となります。上半身脱帽正面向き無背景で、直近３か月以内に撮影した１００ＫＢ～５ＭＢサイズの jpg または png データをアップロードしてください。

エ Ａ４サイズ用の紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。

印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷することになります。）

オ 「（２）提出書類」の「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学入試課（０９８５－５８－７１３８）まで相談してください。

※ インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。（３）の受付期間内に提出書類の郵送又は持参がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

※ インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、上記＜インターネット出願登録サイト＞をご確認いただくか、志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。

志願受付操作サポート窓口：０１２０－７５２－２５７（出願登録期間の９：００～２０：００）

（２）提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形２号封筒（２４０ｍｍ×３３２ｍｍ）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

① インターネット出願登録サイトから登録・印刷（Ａ４サイズで印刷）

提出書類	摘 要
出願確認票（提出用）	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 ※「提出用」の出願確認票を提出してください。「確認用」の出願確認票ではありませんので、注意してください。 ・該当する「大学入試センター試験成績請求票」を必ず貼付してください。
宛名ラベル	角形２号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

② 出願者が準備する必要提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）

提出書類	摘 要
調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものとします。 ・「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。 ・出身高等学校等において指導要録が保存年限を超え、調査書を発行できない場合には、その旨を記した証明書、単位修得証明書及び卒業証明書の3つの提出をもって、これに代えることができます。 ・高等学校卒業程度認定試験等に合格した者は当該試験の合格成績証明書をもって代えることができます。ただし、高等学校等での取得単位を有する場合は当該高等学校等の成績証明書を添付してください。 ・廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿（写）を提出してください。 <p>（注：調査書、成績証明書等は1年以内に発行されたものを提出してください。）</p>
履 歴 書 （ 医学部医学科及び 看護学科のみ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/ippan.html ・高等学校等を既に卒業した者、卒業見込みの者等出願資格に関わらず全員提出してください。 ・併願する場合、前期・後期日程毎に1部ずつ作成し、履歴事項は空白の期間がないように記入してください。
自己推薦書 （ 医学部医学科及び 看護学科のみ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の様式（A4サイズ・1枚・600字程度）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/ippan.html ・前期日程と後期日程に併願する場合は1部作成し、前期日程用の封筒に入れ提出してください。 ・前期日程と後期日程で異なる学科を志願する場合は、それぞれ1部ずつ作成してください。
第2志望理由書 （ 農学部のみ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・農学部獣医学科（前期日程）を志望する者で畜産草地科学科を第2志望とする者は、本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/ippan.html
英語の資格・検定試験の成績証明書等 （ 工学部及び 地域資源創成学部のみ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部（前期日程）を志願する者で当該書類による英語の試験の免除を希望する者及び地域資源創成学部（前期日程）を志願する者で当該書類による英語の試験の加点を希望する者は、31ページ記載の表に掲げる成績証明書等のいずれかを提出してください。
入学資格認定書（写） （ 個別の入学資格認定者のみ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学が交付した入学資格認定書の写しを提出してください。

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

●学部共通事項

- ①「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。
- ②学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者について「4. 学習成績概評」欄に④と標示した場合には、「9. 備考」の欄にその理由を明示してください。
- ③調査書中「5. 出欠の記録」欄に、欠席日数を記載した場合、必ず備考欄に欠席理由を記入してください。
- ④「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

(3) 提出方法等

- 1) インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒（240mm×332mm）にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れ、厳封のうえ持参又は郵送してください。なお、**郵送の場合は必ず書留速達**としてください。
- 2) 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3) 試験日程グループ間の併願について、「前期日程－前期日程」、「後期日程－後期日程」の併願はできません。なお、本学においては、「前期日程－後期日程」の併願ができます。その際、それぞれの日程で異なった学部・学科（課程）等を志望することも可能です。

(4) 提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課（事務局棟1階）
電話 0985-58-7138 FAX 0985-58-2865

(5) 提出書類（出願書類）の受付期間

平成31年1月28日（月）から2月6日（水）17時まで（必着）

- 1) 持参の場合の受付時間は、土曜日及び日曜日を除く8時30分から17時に必着です。
 - 2) 郵送の場合は必ず書留速達とし、**期間内必着**（郵送の場合も2月6日（水）17時までに必着のこと）とします。受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ※インターネット出願登録期間については、平成31年1月21日（月）～2月6日（水）17時までとしており、事前に登録可能です。
- なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に（2）の提出書類を全て持参又は郵送することで完了します。

注 意 事 項

- 1) インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学部、志望学科・課程（コース・専攻）、個別学力検査選択科目の変更は認めません。（それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。）
- 2) 提出書類に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分に注意してください。
- 3) 受付後の提出書類は返還しません。
- 4) 出願手続き及び入学手続きにおいて不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- 5) 提出書類受付後に大学入試センター試験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては13,000円を返還します。
- 6) 医学部医学科において、2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜の不合格者に対しては13,000円を返還します。
- 7) 既納の検定料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
 - ① 提出書類を郵送又は持参しなかった場合
※インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、（5）の受付期間内に（2）の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。
 - ② 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合
 - ③ 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還請求願（様式は問いません。氏名（フリガナ）、入試区分、返還請求理由、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したもの）を作成し、以下へ平成31年3月31日（必着）までに、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、平成31年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

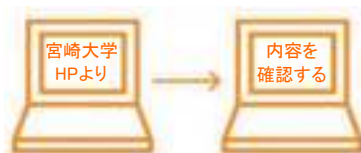
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
Tel: 0985-58-7122（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

1 入試区分・入試制度の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程等の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、試験科目等を確認します。

募集要項掲載URL

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



2 出願情報の登録

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って登録内容を入力します。

●登録内容

◎入試区分の選択 ◎志望学部・学科等・受験科目等の選択

◎個人情報の入力 ◎写真データのアップロード

インターネット出願登録サイト

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/internet-application.html>



4 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア

◎銀行ATM(ペイジー) ◎ネットバンキング



3 出願情報の確認・修正

登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。



5 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。



6 出願確認票の印刷

出願確認票(提出用)等を印刷します。



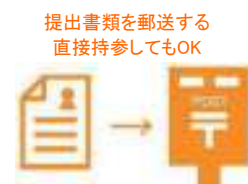
8 受験票の印刷

出願が完了し、数日後に「受験票印刷可能通知メール」を志願者が登録した電子メールアドレスへ送信しますので、各自受験票を印刷し、試験当日に持参してください。



7 提出書類の郵送

出願確認票(6で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送又は持参し、出願完了!



(6) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、**出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課**へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、**12月28日(金)まで**とします。

期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書及びセンター試験受験上の配慮事項審査結果通知書の写しを添えて提出してください。(郵送可)

ア 志願者氏名・志望学部・学科

イ 障がい等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電 話 0985-58-7138
FAX 0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

5 教育学部、工学部及び農学部における第2志望について

教育学部、工学部及び農学部については、以下のとおり第2志望ができます。「9 (5) 第2志望選抜方法」(30ページ)及び「14 追加合格」(37ページ)も参照してください。

なお、医学部及び地域資源創成学部においては前期日程、後期日程ともに第2志望選抜は行いません。

(1) 教育学部

- 1) 教育学部の前期日程で2/3型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻、中学校主免専攻及び教職実践基礎コース』を受験する場合、第1志望のコース・専攻に加えて、この『』内から別のいずれか1つのコースもしくは専攻を第2志望とすることができます。
- 2) 教育学部の前期日程で理系入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』を受験する場合、第1志望の専攻に加えて、この『』内から別の専攻を第2志望とすることができます。
- 3) 教育学部の後期日程小論文型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』を受験する場合、第1志望の専攻に加えて、この『』内から別の専攻を第2志望とすることができます。
- 4) 第2志望コース・専攻の志望がない場合は、第1志望コース・専攻でのみ合否判定します。

(2) 工学部

- 1) 工学部の全学科で前期日程・後期日程とも第2志望ができます。
- 2) 第2志望学科の志望がない場合は、第1志望学科でのみ合否判定します。

(3) 農学部

- 1) 農学部前期日程で獣医学科を第1志望とする場合は、畜産草地科学科を第2志望とすることができます。第2志望は、第1志望学科(獣医学科)で不合格になった場合に、畜産草地科学科において選抜の対象となります。なお、後期日程では、第2志望選抜は行いません。
- 2) 第2志望学科の志望がない場合は、第1志望学科でのみ合否判定します。

6 受験票の印刷及び選択科目の確認

- (1) 出願期間終了後から2月18日(月)までに、出願時に登録したメールアドレスへ受験票が印刷可能となった旨の連絡をします。連絡があった後にインターネット出願システムの「申し込み一覧」からA4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。2月18日(月)までに連絡がない場合は、至急入試課へ照会してください。(医学部医学科は「7 第1段階選抜による結果通知」を参照してください。)
- (2) 申請した選択科目の変更は認めませんので、出願時に出願確認票の「個別学力検査選択科目」欄で再確認してください。
- (3) 個別学力検査受験及び入学手続の際は、**宮崎大学入学試験受験票と大学入試センター試験受験票の両方**が必要です。大切に保管しておいてください。

7 第1段階選抜による結果通知

- (1) 医学部医学科(前期日程・後期日程)において、入学志願者が募集人員を大幅に上回り、個別学力検査等を適切に行うことが困難な場合には第1段階選抜を行うことがあります。
第1段階選抜は大学入試センター試験の成績により行い、原則として前期日程については募集人員の約6倍、後期日程については募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を行います。
大学入試センター試験の利用教科・科目、配点等は学科の前期日程・後期日程に準じます。
- (2) 第1段階選抜の結果について、前期日程・後期日程とも2月13日(水)付けで合格者へは、上記6(1)と同様の方法で個別学力検査の受験票及び受験案内を送信し、不合格者へはその旨の通知書と検定料一部返還手続の書類を郵送します。
- (3) 2段階選抜を実施しない場合は、その旨を2月13日(水)に医学部講義実習棟玄関前掲示板、本学のホームページにおいて公表し、併せて志願者全員へ受験票を上記6(1)と同様の方法で送付します。
- (4) 受験票又は通知書等が2月18日(月)までに届かない場合は、至急入試課へ照会してください。

8 選 抜 方 法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書の結果等を総合して行います。

9 入学者選抜の実施教科・科目等

大学入試センター試験及び個別学力検査等の受験教科・科目等は、21～27ページのとおりです。志望する学部・学科課程（コース・専攻）の指定した教科・科目を確実に受験してください。

なお、大学入試センター試験において、指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、出願無資格者として取り扱いますので、注意してください。

また、個別学力検査等において、指定した教科・科目等を1つでも受験していない者は、合否判定の対象となりませんので、注意してください。

（1）教科・科目名の表記について

1）大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科 目 名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史→地歴	『世界史A』→『世A』，『世界史B』→『世B』，『日本史A』→『日A』，『日本史B』→『日B』， 『地理A』→『地理A』，『地理B』→『地理B』
公民→公民	『現代社会』→『現社』，『倫理』→『倫』，『政治・経済』→『政経』， 『倫理,政治・経済』→『「倫・政経」』
数学→数	『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』，『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』，『数学A』→『数A』，『数学B』→『数B』， 『簿記・会計』→『簿』，『情報関係基礎』→『情報』
理科→理	『物理基礎』→『物基』，『化学基礎』→『化基』，『生物基礎』→『生基』，『地学基礎』→『地基』， 『物理』→『物』，『化学』→『化』，『生物』→『生』，『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』，『ドイツ語』→『独』，『フランス語』→『仏』，『中国語』→『中』，『韓国語』→『韓』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

2）個別学力検査等の出題科目名は、上記1）と同様に表記するほか、次のように表記しています。

科目名	『数学Ⅲ』→『数Ⅲ』，『コミュニケーション英語Ⅰ』→『コ英Ⅰ』， 『コミュニケーション英語Ⅱ』→『コ英Ⅱ』，『コミュニケーション英語Ⅲ』→『コ英Ⅲ』， 『英語表現Ⅰ』→『英表Ⅰ』，『英語表現Ⅱ』→『英表Ⅱ』
-----	---

(2) 教科・科目等

①教育学部（平成30年度志願倍率 6.1倍）

（前期日程 2月25日、2月26日）

課程・コース 及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
(2/3型入試) (注⑩) 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 20人 中学校主専攻 10人 教職実践コース 5人	国	国語	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	国	★国語総合・現代文B・ 古典B	セナ 試験 個別学 力検査 計	200	200 100	200	100 200	200			900
	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B		}から2	100 ＊			100 ＊		100 ＊		200		
	地歴 公民	★コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ			}から3 (注☆)		300 ＊	200 100	300 ＊	100 200	300 ＊	1100		
	理	物、化、生、地学、(物基、化基、生基、地基から2)から1又は2					〔2教科2科目〕							
外	英 (〆ンヅを含む)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目〕													
(理系入試) (注⑩) 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 8人 中学校主専攻 10人	国	国語	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	セナ 試験 個別学 力検査 計	200	100	200	200	200			900
	数	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生		}から1 〔2教科2科目〕				200	200			400		
	地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、「倫・政経」			}から1		200	100	400	400	200	1300		
	理	物、化、生、地学、(物基、化基、生基、地基から2)から2 (注△)												
外	英 (〆ンヅを含む)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目・5教科8科目〕													
(2/3型 十面接入試) 学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻 7人 特別支援教育専攻 7人	国	国語	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	国	★国語総合・現代文B・ 古典B	セナ 試験 個別学 力検査 計	200	200 100	200	100 200	200			900
	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B		}から2	100 ＊			100 ＊		100 ＊		300	500	
	地歴 公民	★コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ			}から3 (注☆)		300 ＊	200 100	300 ＊	100 200	300 ＊	300	1400	
	理	物、化、生、地学、(物基、化基、生基、地基から2)から1又は2					〔2教科2科目〕							
外	英 (〆ンヅを含む)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目〕	その他	面接											

(注⑩) 第2志望選抜を実施します。詳細は19、30及び37ページを参照してください。

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、

③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

(注△) 次の①②よりいずれかを選択。①理科の基礎を付した科目2科目と理科の基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、②理科の基礎を付していない科目2科目

（後期日程 3月12日）

課程・コース 及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
(小論文型入試) (注⑩) 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主専攻 10人 中学校主専攻 5人	国	国語		その他	小論文	大学入試センター試験	200	200 100	200	100 200	200			900
	数	(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2			個別学力検査							300		300
	地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、「倫・政経」	} から1又は2 } から3 (注☆)			計	200	200 100	200	100 200	200	300		1200
	理	物、化、生、地学、(物基、化基、生基、地基から2)から1又は2												
	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目)												

(注⑩) 第2志望選抜を実施します。詳細は19、30及び37ページを参照してください。

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、

③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

【注】22ページの注意事項を必ずお読みください。

注意事項（教育学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を1科目と指定している場合において、2科目受験しているときは、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。
(理系入試が該当)
- 3) 地歴・公民、理科の受験科目を3科目(理科の基礎を付した科目を選択する場合は4科目)と指定している場合において、指定科目数を超過して受験しているときは、次のとおり成績を採用します(2/3型入試(前期)、2/3型十面接入試(前期)、小論文型入試(後期)が該当)

受験科目数			得点の採用方法
地歴	理科		
公民	理科①	理科②	
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科①の2科目」, 「理科②の1科目」のうち高得点の2つの成績』 ※ただし、理科①及び理科②において同一名称を含む出題科目を同時に採用することはできない。
	—	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科②の第2解答科目」のうち高得点の1科目』

※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目

- 4) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く)。筆記試験のみ受験した者(免除者を除く)及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。
大学入試センター試験の外国語において英語(250点満点)とその他の外国語(200点満点)で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、課程・コース(専攻)の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験(200点)を課程・コース(専攻)の配点に換算します。
- 5) 大学入試センター試験の成績は、全ての課程・コース(専攻)において平成31年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
 - ③生物基礎・生物は全範囲から出題します。

※個別学力検査等の欄に★印(選択科目)が付してあるものは、出願登録時に科目を選択してください。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科を示します。

※第2志望について

- 1) 教育学部の前期日程で2/3型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻、中学校主免専攻及び教職実践基礎コース』を受験する場合、第1志望のコース・専攻に加えて、この『』内から別のいずれか1つのコース・専攻を第2志望とすることができます。
- 2) 教育学部の前期日程で理系入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』を受験する場合、第1志望の専攻に加えて、この『』内から別の専攻を第2志望とすることができます。
- 3) 教育学部の後期日程小論文型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』を受験する場合、第1志望の専攻に加えて、この『』内から別の専攻を第2志望とすることができます。
- 4) 第2志望コース・専攻を志望しない場合は、第1志望コース・専攻でのみ合否判定します。
詳細については19、30及び37ページを参照してください。

②医学部（平成30年度志願倍率 8.2倍）

学科	日程及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
			科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階選 抜	試験の区 分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
医学科	前期 2月25日 2月26日 50人	国	国語	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B Ⅱ 〔2教科2科目〕	下記 注意 事項 参照	セナ試験	200	100	200	200	200				900
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」			個別学力検査			300		300		※	600	
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報からⅠ)の2			計	200	100	500	200	500			1500	
	後期 3月12日 3月13日 20人	理	物、化、生から2	〔5教科7科目〕	下記 注意 事項 参照	セナ試験	200	100	200	200	200				900
		外	英(リスニングを含む)			個別学力検査				150	150		※	300	
		その他	面接			計	200	100	200	350	350			1200	
看護学科	前期 2月25日 2月26日 35人	国	国語	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿、情報からⅠ	その他	面接	セナ試験	200	100	200	100	200			800
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」				個別学力検査							300	300
		数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿、情報からⅠ				計	200	100	200	100	200		300	1100
	後期 3月12日 3月13日 10人	理	物、化、生からⅠ	〔5教科5科目〕	その他	小論文 面接	セナ試験	200	100	200	100	200			800
		外	英(リスニングを含む)				個別学力検査						100	200	300
		計	200				100	200	100	200	100	200	1100		

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（医学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 看護学科において、理科の基礎を付していない科目を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 4) 看護学科において、数学を2科目受験しているときは、高得点の科目の成績を採用します。
- 5) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く）。筆記試験のみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。
大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、各学科の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験（200点）を各学科の配点に換算します。
- 6) 大学入試センター試験の成績は、全ての学科において平成31年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①化学基礎・化学は全範囲から出題します。
- 3) 医学部医学科において、第1段階選抜は大学入試センター試験の成績により行い、原則として前期は募集人員の約6倍までを、後期は募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

※面接は、合否判定の重要な資料とします。面接の評価が合格に達していない者は不合格とします。

③工学部（平成30年度志願倍率 5.4倍）

学科	日程及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
			科 目 名 等		教科時	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
①環境応用化学科 ②社会環境システム学科 ③環境ロボティクス学科 ④機械設計システム学科 ⑤電子物理学科 ⑥電気システム学科 ⑦情報システム学科	前期 2月25日 ①38人 ②33人 ③32人 ④35人 ⑤35人 ⑥29人 ⑦34人	国	国語	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ★物基・物 } から1 ★化基・化 } コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ (3教科3科目)	セ ン テ ー サ ー 試 験	200	100	200	200	200				900
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」			個 別 学 力 検 査			250	250	100				600
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2			計	200	100	450	450	300				1500
		理	物、化、生から2												
		外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)												
		後期 3月12日 ①12人 ②15人 ③12人 ④11人 ⑤13人 ⑥12人 ⑦12人	国			国語	理	★物基・物 } から1 ★化基・化 } (1教科1科目)	セ ン テ ー サ ー 試 験	200	100	200	200	200	
	地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、「倫・政経」	個 別 学 力 検 査						300					300	
	数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数Bの2	計	200	100	200			500	200				1200	
	理	物、化、生から2													
	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)													

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（工学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 前期日程の数学において、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 4) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く）。筆記試験のみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。
大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、各学科の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験（200点）を各学科の配点に換算します。
- 5) 大学入試センター試験の成績は、全ての学科において平成31年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
- 3) 前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、個別学力検査における英語の試験を免除し、英語を満点とします。詳細については31ページを参照してください。

※個別学力検査等の欄に★印（選択科目等）が付してあるものは、出願登録時に科目を選択してください。

※第2志望について

工学部の全学科で前期日程・後期日程とも第2志望ができます。詳細については19、30及び37ページを参照してください。

④農学部（平成30年度志願倍率 4.3倍）

学科	日程及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
			科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
植物生産環境科学科	前期 2月25日 28人	国	国語	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	セナ試験	200	100	200	200	200			900
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	個別学力検査			200*	200*				200
	後期 3月12日 14人	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2			計	200	100	400*	400*	200			1100
		理	物化生 地学(物基 化基 生基 地基から2) から2 (注△)	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	セナ試験	200	100	200	200	200			900
森林緑地環境科学科	前期 2月25日 31人	国	国語	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	セナ試験	200	100	200	200	200			900
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	個別学力検査			300*	300*				300
	後期 3月12日 11人	数	(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2			計	200	100	500*	500*	200			1200
		理	物化生 地学(物基 化基 生基 地基から2) から2 (注△)	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	セナ試験	100	100	300	300	200			1000
応用生物科学科	前期 2月25日 34人	国	国語	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	セナ試験	50		150	150	150			500
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1)の2	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	個別学力検査			300*	300*				300
	後期 3月12日 12人	理	物化生(物基 化基 生基から2) から2 (注▲)			計	50		450*	450*	150			800
		外	英(Ⅰ/Ⅱ/Ⅲを含む)	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	セナ試験			200	200	200			600
海洋生物環境学科	前期 2月25日 18人	国	国語	国	★国語総合・現代文B・古典B	セナ試験	100	50	200	200	100			650
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	個別学力検査	150*		150*	150*	150*			150
	後期 3月12日 11人	数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1)の2	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	計	250*	50	350*	350*	250*			800
		理	物化生 地学(物基 化基 生基 地基から2) から2 (注△)	外	★二英Ⅰ・二英Ⅱ 英表Ⅰ・英表Ⅱ	セナ試験	200		200	300	200			900
畜産草地科学科	前期 2月25日 36人	国	国語	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	セナ試験	200	100	200	200	200			900
		地歴公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経「倫・政経」 } から1	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	個別学力検査			200*	200*				200
	後期 3月12日 15人	数	(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2			計	200	100	400*	400*	200			1100
		理	物化生 地学(物基 化基 生基 地基から2) から2 (注△)	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	セナ試験	200	100	200	200	200			900
畜産草地科学科	後期 3月12日 15人	外	英(Ⅰ/Ⅱ/Ⅲを含む)			個別学力検査				300				300
						計	200	100	200	500	200			1200

(注△) 次の①②よりいずれかを選択。①理科の基礎を付した科目2科目と理科の基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学)の選択は不可)、②理科の基礎を付していない科目2科目

(注▲) 次の①②よりいずれかを選択。①理科の基礎を付した科目2科目と理科の基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物、化基と化、生基と生)の選択は不可)、②理科の基礎を付していない科目2科目

【注】26ページの注意事項を必ずお読みください。

④農学部（平成30年度志願倍率 4.3倍）

学科	日程及び 募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
			科 目 名 等		試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計	
獣 医 学 科	前 期 2月25日 20人	国	国語	数	★数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	セナ 試験	200	100	200	200	200			900
		地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から1	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	個別学 力検査			200 ＊	200 ＊	200 ＊		400	
		数	(数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	外	★コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ	計	200	100	400 ＊	400 ＊	400 ＊		1300	
	理	物、化、生から2												
	外	英 (JLNGを含む)												
				〔5教科7科目〕										
後 期 3月12日 10人	国	国語	理	★物基・物 ★化基・化 ★生基・生 } から1	セナ 試験	200	100	200	200	300			1000	
	地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から1			個別学 力検査				200			200		
	数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bから1			計	200	100	200	400	300		1200		
	理	物、化、生から1												
	外	英 (JLNGを含む)												
			〔5教科5科目〕											

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（農学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いいます。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 獣医学科後期日程において、数学を2科目受験しているときは、高得点の科目の成績を採用します。
- 4) 獣医学科後期日程において、理科を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 5) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く）。筆記試験のみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いいます。
大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、各学科の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験（200点）を各学科の配点に換算します。
- 6) 大学入試センター試験の成績は、全ての学科において平成31年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から出題します。
 - ②数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
 - ①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
 - ②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
 - ③生物基礎・生物は全範囲から出題します。

※個別学力検査等の欄に★印（選択科目等）が付してあるものは、出願登録時に科目を選択してください。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科を示します。

※第2志望について

農学部前期日程で獣医学科を第1志望とする場合は、畜産草地科学科を第2志望とすることができます。詳細について19、30及び37ページを参照してください。

※グローバル人材育成入試について

農学部一般入試（獣医学科を除く）の募集人員210名の中には、グローバル人材育成入試の募集人員10名を含みます。

⑤地域資源創成学部（平成30年度志願倍率 4.8倍）

学科	日程及び募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
			科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
地域資源創成学科	前期 2月25日 55人	国 数	国語 (数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1)の2	外	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 〔1教科1科目〕	セオ-試験	200	200 100	200	100 200	200			900
						個別学力検査					200	100		300
						計	200	200 100	200	100 200	400	100		1200
	後期 3月12日 20人	地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、〔倫・政経〕 から1又は2 物、化、生、地学、(物基、化基、生基、地基から2)から1又は2 から3 (注☆)	その他	小論文	セオ-試験	200	200 100	200	100 200	200			900
						個別学力検査						100	200	300
						計	200	200 100	200	100 200	200	100	200	1200
	理	英(リテラを含む)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目〕	その他	面接 小論文	セオ-試験	200	200 100	200	100 200	200			900	
					個別学力検査						100	200	300	
					計	200	200 100	200	100 200	200	100	200	1200	

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、
③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（地域資源創成学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
2) 地歴・公民、理科の受験科目において、指定科目数を超過して受験しているときは、次のとおり成績を採用します。

受 験 科 目 数			得点の採用方法
地歴 公民	理科		
	理科①	理科②	
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科①の2科目」, 「理科②の1科目」のうち高得点の2つの成績』 ※ただし、理科①及び理科②において同一名称を含む出題科目を同時に採用することはできない。
	—	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科②の第2解答科目」のうち高得点の1科目』

- ※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目
- 3) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く）。筆記試験のみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、学科の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験（200点）を学科の配点に換算します。
4) 大学入試センター試験の成績は、平成31年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、個別学力検査における英語の得点として、満点を上限に加点します。詳細については31ページを参照してください。

(3) 小論文、面接の採点・評価基準

学部	学科・課程等	日程	選抜方法	採 点 ・ 評 価 基 準
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻	後期	小論文	小学校教員及び中学校教員に必要な資質や能力を評価します。
	学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻	前期	面接	小学校教員及び幼稚園教員に必要な資質や能力を評価します。
	学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻	前期	面接	特別支援学校教員に必要な資質や能力を評価します。
医学部	医 学 科	前期・後期	面接	受験者の医学生としての資質，意欲，適性等を評価します。
	看護学科	後期	面接	受験者の看護学生としての資質，適性，意欲等を評価します。
	看護学科	後期	小論文	提示された課題に対し，配付資料を基に，小論文を作成させ，思考の展開，総合的な表現力を評価します。
地域資源創成学部	地域資源創成学科	前期・後期	小論文	提示された課題に対し，小論文を作成させ，論理的思考能力，判断力，記述（文章）によるコミュニケーション能力を評価します。
		後期	面接	地域や社会の課題解決に対する関心，意欲，協働力，口述によるコミュニケーション能力を総合的に評価します。

(4) 合否判定基準

大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。

ただし、① 志望する学部・学科・課程（コース・専攻）が指定する大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目等をすべて受験しなければ、合否判定の対象にはなりません。

② 医学部医学科において、面接の評価が合格に達しない者は不合格とします。

③ 総合得点が同点の場合は、次表に示す教科・科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	学科・課程（コース・専攻）	前 期 日 程	後 期 日 程
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻及び 中学校主免専攻 (2/3型入試・前期) (小論文型入試・後期) 教職実践基礎コース※ 発達支援教育コース 子ども理解専攻※ 特別支援教育専攻※ ※印のコース・専攻は前期のみ募集	①個別学力検査等の合計得点 ②大学入試センター試験の国語と外国語の合計得点	①個別学力検査等の合計得点 ②大学入試センター試験の国語と外国語の合計得点
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻及び 中学校主免専攻 (理系入試・前期)	①個別学力検査等の合計得点 ②大学入試センター試験の数学の合計得点	
医学部	医 学 科	①個別学力検査等の面接の評価 ②個別学力検査等の数学と英語の合計得点 ③調査書の評定平均値	①個別学力検査等の面接の評価 ②個別学力検査等の化学と英語の合計得点 ③調査書の評定平均値
	看 護 学 科	①個別学力検査等の面接の得点 ②調査書の評定平均値	①個別学力検査等の面接の得点 ②個別学力検査等の小論文の得点 ③調査書の評定平均値
工学部	全 学 科	①大学入試センター試験の総合得点 ②大学入試センター試験の数学の合計得点 ③大学入試センター試験の国語の得点 ④大学入試センター試験の外国語の得点 ⑤大学入試センター試験の理科の合計得点	①大学入試センター試験の総合得点 ②大学入試センター試験の数学の合計得点 ③大学入試センター試験の国語の得点 ④大学入試センター試験の外国語の得点 ⑤大学入試センター試験の理科の合計得点
農学部	植物生産環境科学科	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の外国語の得点	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の外国語の得点
	森林緑地環境科学科	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の外国語の得点	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の外国語の得点
	応 用 生 物 学 科	①大学入試センター試験の英語の得点 ②大学入試センター試験の理科の合計得点	①大学入試センター試験の英語の得点 ②大学入試センター試験の理科の合計得点
	海 洋 生 物 環 境 学 科	①大学入試センター試験の理科及び個別 学力検査の合計得点 ②大学入試センター試験の英語の得点	①大学入試センター試験の理科及び個別 学力検査の合計得点 ②大学入試センター試験の英語の得点
	畜 産 草 地 学 科	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の英語の得点	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の英語の得点
	獣 医 学 科	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の英語の得点	①個別学力検査の総合得点 ②大学入試センター試験の英語の得点
創地 成域 学資 部源	地 域 資 源 創 成 学 科	①個別学力検査の英語の得点 ②個別学力検査の小論文の得点	①個別学力検査の面接の得点 ②個別学力検査の小論文の得点

(5) 第2志望選抜方法

①教育学部

- 2/3型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻、中学校主免専攻及び教職実践基礎コース』（すべて前期日程）において、募集人員の約6割（下記参照）を第1志望の志願者から総合得点順に合格者を決定します。残りは、第1志望・第2志望の志願者を併せて、総合得点順に合格者を決定します。
- 理系入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』（ともに前期日程）において、募集人員の約6割（下記参照）を第1志望の志願者から総合得点順に合格者を決定します。残りは、第1志望・第2志望の志願者を併せて、総合得点順に合格者を決定します。
- 小論文型入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻』（ともに後期日程）において、募集人員の約6割（下記参照）を第1志望の志願者から総合得点順に合格者を決定します。残りは、第1志望・第2志望の志願者を併せて、総合得点順に合格者を決定します。

・2/3型入試（前期日程）

コース等	募集人員	第1志望者からの 選抜人数
小中一貫教育コース 小学校主免専攻	20	12
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	10	6
教職実践基礎コース	5	3

・小論文型入試（後期日程）

コース等	募集人員	第1志望者からの 選抜人数
小中一貫教育コース 小学校主免専攻	10	6
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	5	3

・理系入試（前期日程）

コース等	募集人員	第1志望者からの 選抜人数
小中一貫教育コース 小学校主免専攻	8	5
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	10	6

②工学部

全受験者を大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

なお、第1志望学科に合格しなかった場合は、第2志望学科で合否判定します。

③農学部

- 獣医学科を志望する者で、第2志望として畜産草地科学科を希望する者は、本学ホームページ（<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/departament-exam/ippan.html>）に掲載している「第2志望理由書」を提出してください。（第2志望選抜を希望しない者は「第2志望理由書」を提出する必要はありません。なお、このことは獣医学科における選抜には一切関係しません。）
- 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査試験及び出願書類（調査書並びに第2志望理由書）審査の結果を総合して行います。

なお、大学入試センター試験及び個別学力検査試験は第1志望学科の試験科目の成績をもって合否判定します。

- 選抜人数は3名を上限とし、畜産草地科学科の一般入試・前期日程の募集人員に含まれます。獣医学科の募集人員は変わりません。

(6) 個別学力検査（英語）の免除及び加点について

①工学部

工学部の個別学力検査（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の試験を免除し、英語を満点とします。

TOEIC® Listening&Reading Test	TOEFL		GTEC		実用英語技能検定 （英検）
	Junior®	iBT®	3技能版	CBT	
500	730	38	610	900	2級

②地域資源創成学部

地域資源創成学部の個別学力検査（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の得点として、満点を上限に加点します。

下表に該当するスコアを2つ以上取得している場合は1つのみ加点対象としますので、加点の高いものを1つ選択して申請してください。

加点	TOEIC® Listening&Reading Test	TOEFL iBT®	GTEC （3技能版）	実用英語技能検定 （英検）	IELTS
30点	730	80	700	準1級	5.5
20点	650	73	650		5.0

※ 英語の試験の免除及び加点を希望する者は、該当する検定試験の成績証明書等（原本。写し不可）を1通用意して、他の提出書類と一緒に同封して出願してください。（外国語検定試験の成績証明書等を出願受付後に提出することはできません。）

希望申請を行った場合でも、成績証明書等が出願期間内に本学に到着しなかった場合については、免除及び加点を認めず、免除及び加点の希望申請がなかったものとして取り扱います。必ず出願期間内に大学に到着するようにしてください。

また、免除又は加点の許可（不許可）通知書については、2月18日（月）までに郵送します。

なお、提出された成績証明書等については、返却しません。

外国語検定試験	提出書類（成績証明書等）
TOEIC® Listening&Reading Test	「TOEIC Official Score Certificate」平成29年1月以降に受験した試験の公式認定証
TOEFL Junior®	「TOEFL Official Score Report」平成29年1月以降に受験した試験のスコアレポート
TOEFL iBT®	「TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report」 平成29年1月以降に受験した試験のスコアレポート
GTEC（3技能版）	「GTEC（3技能版）SCORE REPORT」（オフィシャルスコアに限る） 平成29年1月以降に受験した試験のスコアレポート
GTEC CBT	「GTEC CBT Score Report」平成29年1月以降に受験した試験のスコアレポート
実用英語技能検定（英検）	「実用英語技能検定 合格証明書」二次試験を平成29年1月以降に受験した試験の合格証明書
IELTS	「IELTS Test Report Form」平成29年1月以降に受験した試験の成績証明書

10 試験日程、試験場及び受験上の注意事項等

(1) 試験日程

〔前期日程〕

試験期日	学部	学科・課程等	試験時間及び教科等									
			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
2月25日 (月)	教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 (2/3型入試) 中学校主免専攻 (2/3型入試) 教職実践基礎コース	英 語 9:00~10:30		数学Ⅰ・Ⅱ・A・B 11:30~13:00				国 語 15:00~16:30			
		学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 (理系入試) 中学校主免専攻 (理系入試)			数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B 11:30~13:00				理 科 15:00~16:30			
		学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	英 語 9:00~10:30		数学Ⅰ・Ⅱ・A・B 11:30~13:00				国 語 15:00~16:30		面 接 17:00~	
	※面接については受験案内で時間を指定します。											
	医学部	医 学 科	英 語 9:00~10:30		数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B 11:30~13:30							
		看護学科	面 接 9:00~									
	※面接については受験案内で時間を指定します。											
	工学部	環境応用化学科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	英 語 9:00~10:00		数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B 11:30~13:30				理 科 15:00~16:30			

- (備 考) 1. 受験する科目等の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 受験案内は、受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載します。

試験期日	学部	学科・課程等	試験時間及び教科等									
			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
2月25日 (月)	農学部	植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 畜産草地科学科				数学Ⅰ・Ⅱ・A・B 11:30~13:00			理科 15:00~16:30			
		海洋生物環境学科	英語 9:00~10:30			数学Ⅰ・Ⅱ・A・B 11:30~13:00			国語 15:00~16:30			
		獣医学科	英語 9:00~10:30			数学Ⅰ・Ⅱ・A・B 11:30~13:00			理科 15:00~16:30			
	地域資源創成学部	地域資源創成学科	英語 9:00~10:30			小論文 11:30~13:00						
2月26日 (火)	教育学部	学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	面接 9:00~ ※受験案内で時間を指定します。									
	医学部	医学科 看護学科	面接 9:00~ ※受験案内で時間を指定します。									

- (備考) 1. 受験する科目等の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 教育学部学校教育課程発達支援教育コース及び医学部看護学科の面接は、受験者数によっては2月25日の1日で終了する場合があります。
3. 受験案内は、受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載します。

〔後期日程〕

試験期日	学部	学科・課程等	試験時間及び教科等									
			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
3月12日 (火)	教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻	小論文 9:00~10:40									
	医学部	医学科	理科 9:00~10:30			英語 11:15~12:45			面接 14:00~			
		看護学科	小論文 9:00~10:30			面接 12:00~						

- (備考) 受験する科目等の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。

試験期日	学部	学科・課程等	試 験 時 間 及 び 教 科 等							
			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
3月12日 (火)	工学部	環 境 応 用 化 学 科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電 子 物 理 工 学 科 電気システム工学科 情報システム工学科	理 科 9:00~10:30							
	農学部	植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応 用 生 物 科 学 科 海洋生物環境学学科 畜 産 草 地 科 学 科 獣 医 学 科	理 科 9:00~10:30							
	地域資源創成学部	地 域 資 源 創 成 学 科	小 論 文 9:00~10:30				面 接 12:00~			
3月13日 (水)	医学部	医 学 科 看護学 科	面 接 9:00~							
			※受験案内で時間を指定します。							

- (備考) 1. 受験する科目等の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 医学部の面接は、受験者数によっては3月12日の1日で終了する場合があります。
3. 受験案内は、受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載します。

(2) 試験場

志望学部	試験場		
教育学部	宮崎大学教育学部	宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (木花キャンパス)	電話 0985-58-7138
工学部	宮崎大学工学部		
農学部	宮崎大学農学部		
地域資源創成学部	宮崎大学地域資源創成学部		
農学部 地域資源創成学部	横浜(※1)	横浜市西区北幸2-11-6	
医学部	宮崎大学医学部	宮崎市清武町木原5200番地 (清武キャンパス)	

※1 農学部及び地域資源創成学部の横浜試験場(河合塾横浜校)での受験については、36ページを参照してください。
なお、**横浜試験場で受験できるのは前期日程のみ**です。

- (備考) 1. 教育学部、工学部、農学部及び地域資源創成学部では、志願者数によっては他学部の試験場を利用する場合があります。
2. 試験場までの交通機関等については、下見等であらかじめ熟知しておいてください。

(3) 受験上の注意事項

1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場について、前期日程を受験する者は2月22日（金）の午後以降に、後期日程を受験する者は3月11日（月）の午後以降に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することのないよう、万全の準備を行ってください。

2) 試験当日の注意事項

- ① 当日の携行品
ア) **宮崎大学入学試験受験票**
イ) **大学入試センター試験受験票**
ウ) **筆記用具〔鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・コンパス・定規・鉛筆削り（電動式を除く）など〕**
※時計（計時機能だけのもの）は携行してかまいません。携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。試験室で携帯電話等が鳴った場合は、本人の了解を得ずにかばん等を試験室の外に持ち出す場合があります。
- ② **受験する科目等の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。**
試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
なお、面接については、各学部において指定された受付終了時間を20分以上遅刻した者は、受験を認めません。
- ③ 試験室では、受験番号と同じ番号の机に着席し、「宮崎大学入学試験受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を机上の見やすいところに置いてください。
- ④ 試験開始の合図があるまでは、問題冊子を開かないでください。
- ⑤ 受験票の他に試験時間中、机上に置くことができるのは、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、コンパス、定規、鉛筆削り（電動式を除く）、時計（計時機能だけのもの）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけを取り出したもの）、目薬及び指定された物です。
これ以外の所持品は置いてはいけません。
- ⑥ 試験時間中の筆記用具等の貸借は禁止します。
- ⑦ 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めません。
ただし、試験中の発病、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
この場合、試験時間の延長は認めません。
- ⑧ 試験場においては、監督者又は係員の指示に従ってください。
- ⑨ **カンニング等の不正行為を行った者は失格とし、直ちに退室を命じます。それ以後の受験も認めません。**
- ⑩ 「宮崎大学入学試験受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、入学手続、入学試験成績開示等でも必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

3) 入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/q-anda>

11 一般入試（前・後期日程）の入学試験問題について

本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入学試験終了後、公表します。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧等については、下記のURLにて公表しています。

URL : <http://www.nyushikakomon.jp/>

12 個別学力検査会場（農学部及び地域資源創成学部）について

個別学力検査前期日程において、農学部及び地域資源創成学部では、個別学力検査の試験場を宮崎大学のほかに横浜地区にも設置します。

農学部及び地域資源創成学部に出願する者は、インターネット出願時に受験の希望地を選択してください。横浜試験場の希望者が収容人員（約200人）を超えた場合、その超過した者は、宮崎大学試験場で受験することとなります。

なお、希望の試験場については、出願受付後は原則として変更できません。

また、異なる試験場での受験はできませんので、十分注意してください。

(1) 試験場

学部	学科	試験場
農学部	植物生産環境科学科	宮崎大学試験場及び横浜試験場
	森林緑地環境科学科	
	応用生物科学科	
	海洋生物環境学科	
	畜産草地科学科	
	獣医学科	
地域資源創成学部	地域資源創成学科	

(2) 試験場所在地

- 宮崎大学試験場：宮崎大学（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）
※試験場配置は、49ページ参照
- 横浜試験場：河合塾横浜校（横浜市西区北幸2-11-6）



(3) 注意事項

- 横浜試験場の収容数には限りがあるので、希望者の優先順位は出願書類を受理した順番とします。どの試験場に決定したかについては、受験票に記載しますので、自分の希望した試験場の変更の有無について確認してください。また、横浜試験場での受験許可者には、2月18日（月）までに案内図等についてメールを送信します。
- 横浜試験場への照会・連絡は一切しないでください。
- 横浜試験場の前日の下見は、建物外観以外できません。
- その他の注意事項は、一般入試学生募集要項と試験場決定の通知を熟読してください。

13 合格者発表

(1) 発表日時及び発表方法

試験日程	発表日時	発表方法
前期日程	3月7日(木)午前10時	宮崎大学創立330記念交流会館前に合格者の受験番号のみを掲示します。 なお、医学部の合格者については、 <u>医学部講義実習棟玄関前</u> にも掲示します。 ※報道機関等に氏名公表は行いません。
後期日程	3月21日(木)午前10時	

(2) 合格通知

合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を本人あてに送付します。
電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットにより、合格者の受験番号をホームページに次のとおり掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者発表は(1)、(2)に記載しているとおりです。

アドレス(http://www.miyazaki-u.ac.jp/)			
掲載予定日時	前期日程	3月7日(木)	正午頃までに
	後期日程	3月21日(木)	正午頃までに

(4) 合格者は、合格通知書と同時に郵送される「入学手続案内」により入学手続を行ってください。

(5) 試験当日の合否電報受付等は、大学とは一切関係ありませんので注意してください。

14 追加合格

入学手続者が入学定員に満たない場合は、追加合格者の決定を行うことがあります。

追加合格者の発表は、平成31年3月28日(木)～3月31日(日)に電話により直接本人に連絡しますので、本学からの連絡が確実に受けられるよう待機しておいてください。

入学手続については、「18 入学手続等」(42ページ)を参照してください。

ア) 前期又は後期日程のそれぞれの合格者が入学手続を行わなかった場合は、前期又は後期日程のそれぞれの追加合格者の対象とはなりません。

イ) 農学部において、第2志望で合格した場合は、第1志望の追加合格者の対象とはなりません。

ウ) 教育学部及び工学部において、前期又は後期日程のそれぞれにおいて第2志望で合格した場合は、第1志望の追加合格者の対象とはなりません。

15 欠員補充第2次募集

合格者発表、追加合格者発表を行ってもなお、入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

この場合、詳細については報道機関を通じて公表します。

16 出願状況

出願状況を本学のホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/figures>)に平成31年1月30日(水)から掲載します。

17 大学入試センター試験受験教科・科目の確認

出願にあたっては、志望する学部・学科・課程（コース・専攻）で指定された大学入試センター試験受験教科・科目（本要項21～27ページ参照）を受験しているか、必ず以下の「確認欄」で確認してください。志望する学部・課程（コース・専攻）の確認欄すべてに○が付いた場合のみ、インターネット出願の出願資格内にある大学入試センター試験受験教科・科目の確認で「はい」を選択してください。

※英語のリスニングテストを免除された者は、筆記試験を受験していれば確認欄に○を付けてください。

教育学部

○学校教育課程

- ・小中一貫教育コース小学校主免専攻，中学校主免専攻（2/3型入試【前期】，小論文型入試【後期】）
- ・教職実践基礎コース（2/3型入試【前期】）
- ・発達支援教育コース子ども理解専攻，特別支援教育専攻（2/3型＋面接入試【前期】）

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ⅱ）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数Ⅲ，簿，情報）から1科目受験しました	
地歴・公民（世Ⅰ，世Ⅱ，日Ⅰ，日Ⅱ，地理Ⅰ，地理Ⅱ， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1 又は2科目 } から3科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から1又は2科目	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

○学校教育課程

- ・小中一貫教育コース小学校主免専攻，中学校主免専攻（理系入試【前期】）

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世Ⅰ，世Ⅱ，日Ⅰ，日Ⅱ，地理Ⅰ，地理Ⅱ， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ⅱ）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数Ⅲ，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

注）各コース・専攻の受験教科・科目については21及び22ページの注意事項をご確認ください。

医学部

○医学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生）から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○看護学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生）から1科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

注）各学科の受験教科・科目については23ページの注意事項をご確認ください。

工学部

○全学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました※	
理科（物，化，生）から2科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

※数学についての注意事項

「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

○全学科【後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ・数B）を受験しました	
理科（物，化，生）から2科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

注）各学科の受験教科・科目については24ページの注意事項をご確認ください。

農学部

○植物生産環境科学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」）	} から1科目受験しました
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

○森林緑地環境科学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」）	} から1科目受験しました
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数A）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

○応用生物科学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，（物基，化基，生基から2科目））から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○応用生物科学科【後期】

受験教科・科目	確認欄
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，（物基，化基，生基から2科目））から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○海洋生物環境学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」）	} から1科目受験しました
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○海洋生物環境学科【後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ・数A）を受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○畜産草地科学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数A）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○獣医学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数A）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
理科（物，化，生）から2科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

○獣医学科【後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1科目受験しました	
数学（数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B）から1科目受験しました	
理科（物，化，生）から1科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	

注）各学科の受験教科・科目については25及び26ページの注意事項をご確認ください。

地域資源創成学部

○地域資源創成学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ，数Ⅰ・数A）から1科目受験しました	
数学（数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）から1科目受験しました	
地歴・公民（世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，「倫・政経」） } から1 又は2科目 } から3科目受験しました	
理科（物，化，生，地学，（物基，化基，生基，地基から2科目））から1又は2科目	
外国語（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓）から1科目受験しました	

注）地域資源創成学科の受験教科・科目については27ページの注意事項をご確認ください。

18 入学手続等

(1) 入学手続期間

試験日程	手 続 期 間
前期日程	平成31年3月15日(金) 17時まで(必着)
後期日程	平成31年3月27日(水) 17時まで(必着)

(注1) 原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡のうえ、来学しての入学手続が可能です。

(注2) 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。(宮崎大学入学試験受験票と大学入試センター試験の受験票の両方を必ず提示してください。)

(3) 納 入 金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

① 入学手続をしなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後に納入していただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続時の必要書類

合格者に対し、合格通知書と併せて入学手続関係書類を送付します。

(5) 追加合格者の入学手続

追加合格者の入学手続は、原則として平成31年3月28日(木)から3月31日(日)の9時から17時までとします。

なお、3月末に合格通知を受けた者の入学手続期限については別途通知します。

〔留意点〕

- (1) 前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、後期日程試験を受験してもその合格者となりません。
- (2) 一つの国公立大学・学部に入学者を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者を行うことはできません。
- (3) 入学手続において不正な行為があった場合、入学を取り消すことがあります。

(6) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料を免除されることがあります。

ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できません。対象者に該当するかどうかを事前に担当へ問い合わせてください。

(担当：学生生活支援課 TEL0985-58-7976, 7140, 7882)

- ① 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ② 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ③ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(7) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(8) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額免除又は一部免除することがあります。なお、授業料免除申請者は免除の可否が決定するまでの間、授業料の徴収が猶予されます。

また、申請時期は大学の指定する日で前期・後期の年2回です。

- ① 経済的理由によって授業料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合
- ② 日本学生支援機構給付型奨学金制度の給付奨学生
- ③ 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ④ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ⑤ ③、④に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

入学料免除・授業料免除等に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 TEL0985-58-7976, 7140, 7882 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

(9) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。

これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し、優秀な人材の輩出をはかることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 TEL0985-58-7140, 7976, 7882 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

(10) 教育用ノート型パソコンの必携について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、**学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。**

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

なお、医学部については、定められたパソコン端末により全国共通試験・演習等の実施の必要性から、所定のパソコンを設置していますので、個人所有のパソコンを携行する必要はありません。

(11) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して修学及び研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入としています。また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続については、入学手続書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 TEL0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(12) 学生寮（寄宿舍）への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり掲載済みの「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。なお、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

学生支援部ホームページ（<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/home.html>）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 郵送による「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

ア）請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記の上、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（一般入試）請求」と朱書のうえ請求してください。

イ）請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 TEL0985-58-7142

ウ）請求期限：（前期のみ及び前期・後期併願…平成31年2月1日（金）
後期のみ…平成31年2月15日（金）

※申請書類の提出期限は「入居申請要項」にて通知します。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は、必ず「入居申請要項」を請求してください。

③ 学生寮（寄宿舍）の概要

寄 宿 舎 名	男 子 寄 宿 舎	女 子 寄 宿 舎	国 際 交 流 宿 舎
収 容 定 員	100人	100人	165人
募 集 人 員	19人	19人	36人
入 居 資 格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（平成31年4月～平成32年3月）※4年間を保証するものではありません。		
寄 宿 料	月額7,000円		月額4,700円
構 造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居 室 定 員	1人（個室）		
居 室 面 積	9㎡	9㎡	11㎡
共 用 施 設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸 経 費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所 在 地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

注1）国際交流宿舎の日本人学生の募集人員については、外国人留学生の受入状況により、変動が生じる場合があります。

注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

19 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- (6) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料等徴収に関する業務を行うために利用します。

20 入学試験成績の情報開示（一般入試）

本学では、入学試験の結果について、各試験単位（学科・課程（コース・専攻））毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示しますので、希望があれば必要な手続きを行ってください。

なお、教育学部前期日程、工学部前期日程・後期日程及び農学部前期日程における第2志望についての情報開示は行いません。

記

1. 開示請求者

本学が実施した平成31年度入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

受験者本人が「宮崎大学入試情報開示願」に必要事項を記入し、「本学受験票」、「開示通知用封筒（長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し402円切手を貼ったもの）」を学生支援部入試課に郵送又は持参してください。

※ 受験票は必ず原本を提出してください。コピーは認めません。受験票原本の提出がない者には、いかなる理由があっても情報開示を行いませんので、大切に保管しておいてください。

※ 「宮崎大学入試情報開示願」は、本学ホームページ(平成31年4月中旬掲載予定)からダウンロードしてください。または、郵送（長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、82円切手を貼ったものを封入）によるか、来学により取り寄せてください。

3. 開示請求期間

平成31年5月13日(月)から同年6月7日(金)（必着）まで
（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。）

※ 5月24日（金）までの本学到着分は6月上旬頃に、それ以降の本学到着分は6月下旬頃に返送を予定しております。

※ 期間内に到着しなかったものは受け付けません。

4. 開示情報の種類、内容

（1）学部・学科等が課す大学入試センター試験の科目毎の素点

…合否判定の基礎となった科目のみ

（2）入学試験成績の総得点

…大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等の成績を合計したもの

（3）個別学力検査のそれぞれの科目別得点

…小論文、面接の得点を含む

（4）入学試験成績による順位

…3名以下の合格者及び不合格者については、開示しません。

ア) 合格者

Aランク：合格者の中で上位1/3の者

B // : // 中位1/3の者

C // : // 下位1/3の者

イ) 不合格者

Aランク：合格最低点から 0～20点不足の者

B // : // 21～40点不足の者

C // : // 41～60点不足の者

D // : // 61～80点不足の者

E // : // 81点以上不足の者

F // : 面接の評価が合格に達しない者

5. 開示の方法

開示請求者あてに希望する開示情報を記載した資料を簡易書留にて郵送します。

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学生支援部入試課

TEL：0985-58-7138

21 統計資料

平成30年度 志願者数

	志 願 者 数					
	教育学部	医学部	工学部	農学部	地域資源創成学部	合計
北海道	1	5	5	11	0	22
東北	0	4	1	9	2	16
関東	13	181	30	94	14	332
中部	23	80	72	95	7	277
近畿	31	179	95	147	12	464
中国	23	35	89	79	11	237
四国	10	18	32	41	4	105
九州	468	566	1,372	659	348	3,413
福岡	31	95	219	138	18	501
佐賀	23	14	59	26	8	130
長崎	49	50	158	29	17	303
熊本	48	50	159	60	21	338
大分	23	25	110	63	17	238
宮崎	243	256	511	267	243	1,520
鹿児島	46	60	150	63	23	342
沖縄	5	16	6	13	1	41
その他	5	12	30	22	4	73
合計	574	1,080	1,726	1,157	402	4,939

平成30年度 入学者数

	入 学 者 数					
	教育学部	医学部	工学部	農学部	地域資源創成学部	合計
北海道	0	1	3	3	0	7
東北	0	0	0	1	0	1
関東	3	25	8	16	2	54
中部	5	15	21	29	4	74
近畿	8	21	28	32	4	93
中国	5	3	17	14	4	43
四国	3	2	6	9	0	20
九州	102	102	288	175	80	747
福岡	9	9	46	40	5	109
佐賀	1	3	11	8	3	26
長崎	14	4	32	6	4	60
熊本	8	4	31	14	3	60
大分	2	3	20	19	3	47
宮崎	59	68	119	76	52	374
鹿児島	8	9	27	10	9	63
沖縄	1	2	2	2	1	8
その他	0	1	7	10	1	19
合計	126	170	378	289	95	1,058

平成29年度 志願者数

	志 願 者 数					
	教育学部	医学部	工学部	農学部	地域資源創成学部	合計
北海道	1	8	2	12	0	23
東北	0	2	1	8	2	13
関東	9	148	38	121	5	321
中部	16	62	77	109	4	268
近畿	20	143	110	158	5	436
中国	25	54	89	94	9	271
四国	17	22	44	47	6	136
九州	522	754	1,559	777	302	3,914
福岡	42	115	259	145	15	576
佐賀	13	24	81	40	2	160
長崎	39	49	192	42	11	333
熊本	61	65	190	71	12	399
大分	27	32	145	70	12	286
宮崎	290	351	496	310	213	1,660
鹿児島	47	92	185	88	36	448
沖縄	3	26	11	11	1	52
その他	0	7	23	34	0	64
合計	610	1,200	1,943	1,360	333	5,446

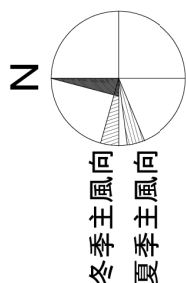
平成29年度 入学者数

	入 学 者 数					
	教育学部	医学部	工学部	農学部	地域資源創成学部	合計
北海道	1	0	0	3	0	4
東北	0	0	0	0	1	1
関東	3	22	7	18	0	50
中部	4	9	11	22	2	48
近畿	6	21	22	29	1	79
中国	3	2	15	20	3	43
四国	2	1	9	10	2	24
九州	107	114	308	180	89	798
福岡	3	16	47	33	3	102
佐賀	4	4	16	5	1	30
長崎	5	5	38	15	3	66
熊本	9	11	40	14	6	80
大分	8	2	27	17	4	58
宮崎	68	66	106	72	62	374
鹿児島	9	5	33	21	9	77
沖縄	1	5	1	3	1	11
その他	0	1	4	12	0	17
合計	126	170	376	294	98	1,064

※志願者数については、「一般入試」、「推薦入試（地域枠含む）」、「AO入試」、「グローバル人材育成入試」、「帰国子女入試」、「社会人入試」及び「私費外国人留学生入試」における志願者数

平成30年度 宮崎大学入学試験実施状況

学部	学科・課程（コース）専攻			定員	日程等	募集 人員	志願者		受験者	合 格 者 ※1					入学者	左記以外の 入学者※2	入学者合計						
							人員	倍率		合格者	満点	最高点	最低点	平均点			男	女	合計				
教育学部	学校教育課程	小学校主免	2／3型入試	前期	20	97	4.9	81	23	1,100	732	648	675	21		27	25	52					
			理系入試	前期	8	26	3.3	24	9	1,300			803	8									
			小論文型入試	後期	10	152	15.2	42	13	1,200			784	11									
			推薦	12	23	1.9	23	12	1,100				12										
		中学校主免	2／3型入試	前期	10	46	4.6	42	13	1,100				698	11		22	22	44				
			理系入試	前期	10	32	3.2	31	12	1,300				832	12								
			小論文型入試	後期	5	75	15.0	25	7	1,200				834	7								
			音楽	AO	2	1	0.5	1	1	1,300					1								
			美術	AO	2	3	1.5	3	2	1,300					2								
			保健体育	AO	4	8	2.0	8	4	1,300					4								
			技術	推薦	2	4	2.0	4	2	200					2								
			家庭	AO	2	2	1.0	2	2	1,300					2								
			英語	AO	2	3	1.5	3	2	1,300					2								
			技術以外の教科	推薦	1	2	2.0	2	1	200					1								
			教職実践基礎コース	前期	5	9	1.8	9	8	1,100				662	5						5	5	10
				推薦	5	10	2.0	10	5	200					5								
			発達支援 教育コース	子ども理解専攻	前期	7	22	3.1	19	7	1,400				867	7			10	10			
					推薦	3	9	3.0	9	3	1,300					3							
				特別支援教育専攻	前期	7	38	5.4	36	8	1,400				808	7		1	9	10			
				推薦	3	8	2.7	8	3	200					3								
	小計（教育学部）			前期	67	270	4.0	242	80						71		55	71	126				
				後期	15	227	15.1	67	20						18								
				推薦	26	56	2.2	56	26						26								
				AO	12	17	1.4	17	11						11								
				合計	120	1,035	10.0	402	147														
医学部	医学科		前期	50	386	7.7	256	66	1,500	1,178	1,053	1,102	65		68	42	110						
			後期	20	376	18.8	60	22	1,200	1,052	989	1,007	20										
			推薦	40	105	2.6	105	25	900				25										
	看護学科		前期	35	68	1.9	67	37	1,100	896	715	774	35		4	56	60						
			後期	10	110	11.0	32	15	1,100	819	730	767	10										
			推薦	15	32	2.1	32	15	200				15										
	小計（医学部）		前期	85	454	5.3	323	103					100		72	98	170						
			後期	30	486	16.2	92	37					30										
			推薦	55	137	2.5	137	40					40										
工学部	環境応用化学科		前期	34	94	2.8	83	45	1,500	1,156	848	920	34		38	20	58						
			後期	12	129	10.8	51	22	1,200	985	821	883	14										
			推薦	12	13	1.1	13	10	500				10										
	社会環境システム工学科		前期	33	98	3.0	97	36	1,500	969	877	929	33		50	3	53						
			後期	10	143	14.3	51	18	1,200	945	784	835	10										
			推薦	10	13	1.3	13	10	500				10										
	環境ロボティクス学科		前期	29	82	2.8	78	37	1,500	994	864	900	29	2	47	4	51						
			後期	10	107	10.7	47	17	1,200	902	757	804	10										
			推薦	10	18	1.8	18	10	500				10										
	機械設計システム工学科		前期	32	74	2.3	70	35	1,500	1,137	868	923	32	1	54	2	56						
			後期	11	154	14.0	49	14	1,200				832					12					
			推薦	11	20	1.8	20	11	500				11										
	電子物理工学科		前期	31	62	2.0	51	35	1,500	1,188	842	903	31		49	4	53						
			後期	10	113	11.3	39	18	1,200	913	731	796	13										
			推薦	12	9	0.8	9	9	500				9										
	電気システム工学科		前期	29	97	3.3	86	33	1,500	978	870	906	29	1	47	3	50						
後期			10	114	11.4	41	16	1,200	895	784	816	11											
推薦			10	10	1.0	10	9	500				9											
情報システム工学科		前期	32	121	3.8	112	35	1,500	1,112	911	965	32	2	50	7	57							
		後期	11	200	18.2	66	14	1,200				855					12						
		推薦	11	30	2.7	29	11	500				11											
小計（工学部）		前期	220	628	2.9	577	256						220	6	335	43	378						
		後期	74	960	13.0	344	119						82										
		推薦	76	113	1.5	112	70						70										
農学部	植物生産環境科学科		前期	28	37	1.3	37	31	1,100	770	522	665	27	2	28	25	53						
			後期	14	99	7.1	34	21	1,200	967	770	847	14										
			推薦	10	28	2.8	28	10	400				10										
	森林緑地環境科学科		前期	31	47	1.5	45	34	1,200	989	639	743	32		30	23	53						
			後期	11	105	9.5	42	17	1,400	1,087	935	1,004	11										
			推薦	10	18	1.8	18	10	400				10										
	応用生物科学科		前期	34	64	1.9	58	43	1,050	850	630	701	32	2	28	29	57						
			後期	12	90	7.5	37	22	1,350	1,107	965	1,024	12										
			推薦	11	24	2.2	24	11	300				11										
	海洋生物環境学科		前期	18	50	2.8	47	19	800	590	526	551	15	3	24	9	33						
			後期	11	75	6.8	41	15	1,200	897	759	833	11										
			推薦	4	13	3.3	13	4	400				4										
畜産草地科学科		前期	36	68	1.9	67	42	1,100	858	689	736	35	1	20	41	61							
		後期	15	127	8.5	53	23	1,200	977	797	865	15											
		推薦	10	24	2.4	24	10	300				10											
獣医学科		前期	20	143	7.2	138	22	1,300	1,155	1,072	1,102	22		19	13	32							
		後期	10	125	12.5	73	12	1,200				1,049					10						
		推薦	167	409	2.4	392	191					163											
小計（農学部）		後期	73	621	8.5	280	110						73	8	149	140	289						
		推薦	45	107	2.4	107	45					45											
		合計	285	2,486	8.7	1,072	436																
創域資源 学部資源	地域資源創成学科		前期	55	166	3.0	156	62	1,200	899	696	729	54	2	42	53	95						
			後期	20	192	9.6	79	29	1,200	878	743	787	24										
			推薦	15	39	2.6	39	15	300				15										
	小計（地域資源創成学部）		前期	55	166	3.0	156	62					54	2	42	53	95						
			後期	20	192	9.6	79	29					24										
		推薦	15	39	2.6	39	15					15											
合計（全学）			前期	594	1,927	3.2	1,690	692					608	16	653	405	1,058						
			後期	212	2,486	11.7	862	315					227										
			推薦	217	452	2.1	451	196					196										
			AO	12	17	1.4	17	11					11										
			合計	1,035	4,882	4.7	3,020	1,214					1,042										



宮崎大学（清武キャンパス）入学試験場

大学病院バス停

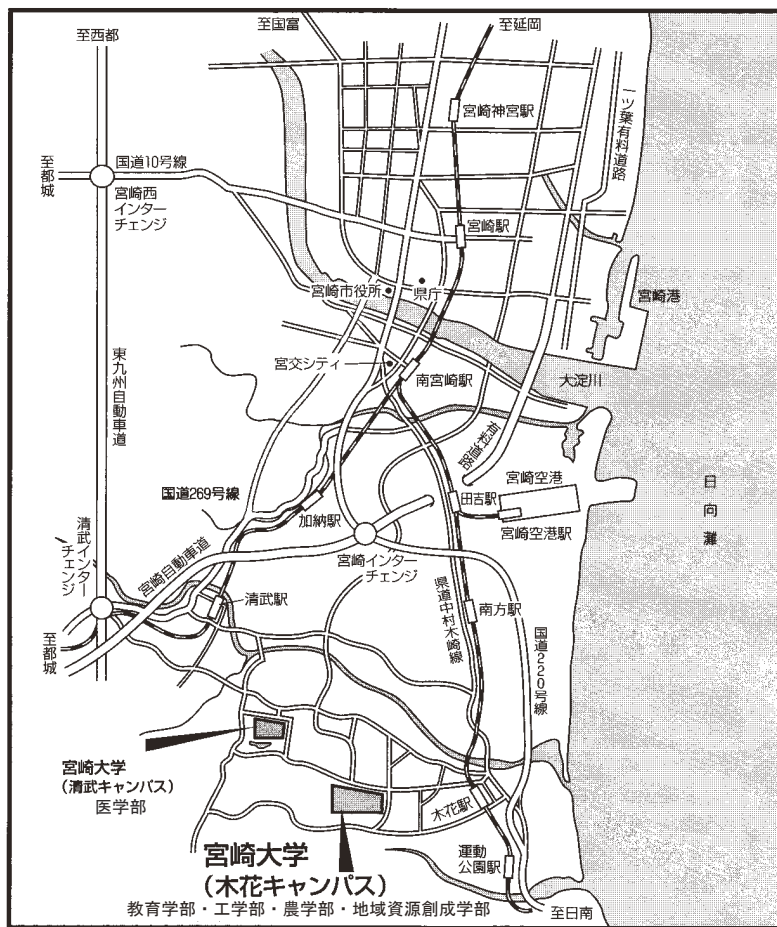
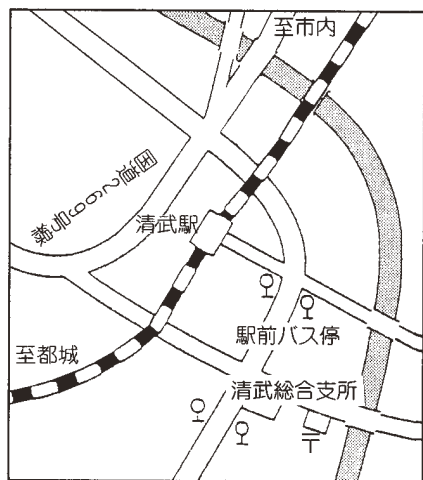
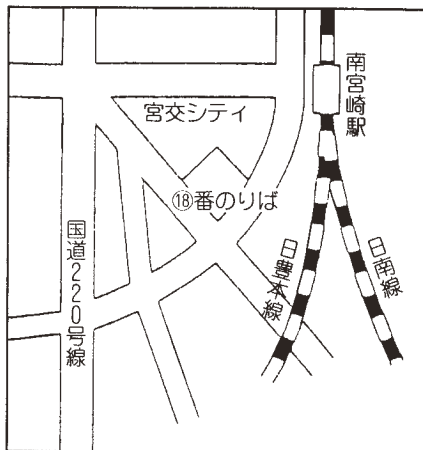
ヒポクラテス像

講義実習棟
玄関前掲示板

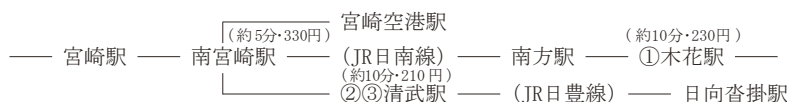
※清武キャンパスの駐車場は
ゲート化され、有料となつて
います。受験の際、車でお越
しの場合は、こちらの駐車場
をご利用下さい。



宮崎大学位置図

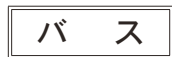


交通案内



※南宮崎駅の上段()書は、宮崎駅からの、木花駅及び清武駅の上段()書は、南宮崎駅からの所要時間及び運賃を示す。

- ①木花駅下車→バス停「木花」利用(徒歩10分)→木花経由 811番線→宮崎大学(約10分・170円)→大学病院前(約15分・270円)
- ②清武駅下車→バス停「清武総合支所前」利用(徒歩10分)→[清武経由832番線→大学病院前(約10分・190円)→宮崎大学(約15分・300円)]
まなび野経由822番線→大学病院前(約10分・190円)→宮崎大学(約15分・300円)
- ③清武駅下車→バス停「清武駅前」利用(徒歩5分)→清武経由 832番線→大学病院前(約10分・220円)→宮崎大学(約15分・330円)



- ① 木花台経由(宮崎交通811番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 国富小前 — 木花 — 宮崎大学(約40分・630円) — 大学病院前(約45分・700円)
 - ② まなび野経由(宮崎交通822番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 農高前 — 県立看護大学 — 清武総合支所前 — 大学病院前(約45分・570円) — 宮崎大学(約50分・660円)
 - ③ 清武経由(宮崎交通832番線)
宮崎駅バスセンター — 宮交シティ — 産経大入口 — 加納小入口 — 清武総合支所前 — 大学病院前(約40分・570円) — 宮崎大学(約45分・660円)
- ※医学部試験場で受験する人は「大学病院前」下車となります。

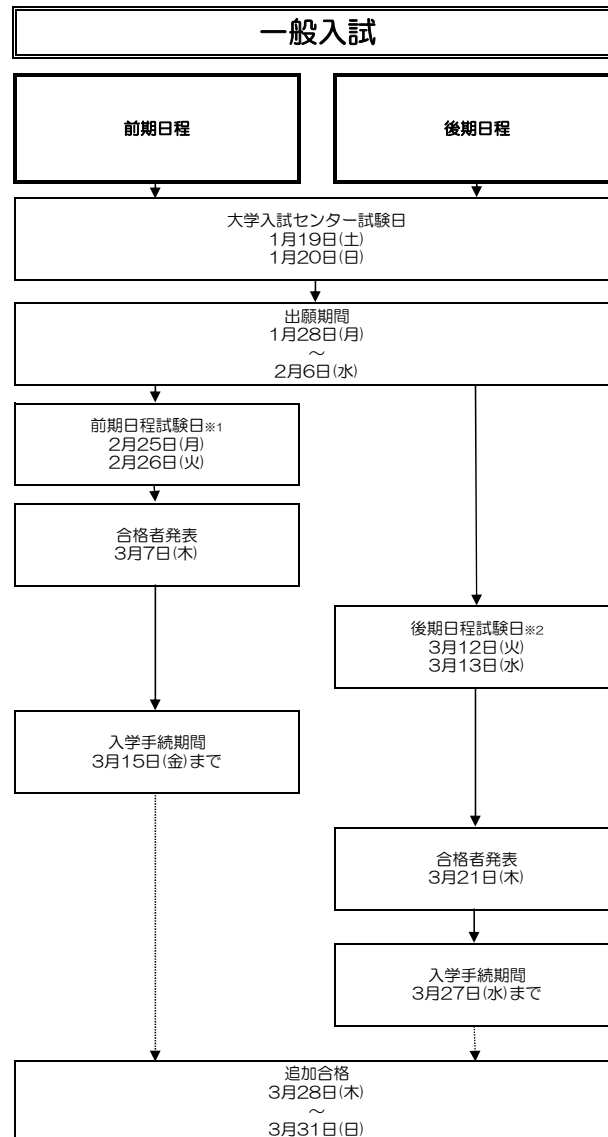


- JR 宮崎駅から — 約35分・3,200円程度
- JR 南宮崎駅から — 約25分・2,600円程度
- JR 木花駅から — 約10分・900円程度
- JR 清武駅から — 約15分・1,700円程度
- 宮崎空港から — 約20分・2,200円程度

各種問い合わせ先

入試全般	・・・学生支援部入試課	(電話 0985-58-7138)
入学手続	・・・学生支援部教育支援課	(電話 0985-58-7427)
授業料納入	・・・財務部財務課	(電話 0985-58-7122)
授業料免除	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7976)
奨学金	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7140)
学生寄宿舍	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7142)

入学者選抜試験日程 (平成31年1月～平成31年3月)



- ※1 教育学部学校教育課程発達支援教育コース及び医学部のみ2月25日・26日の2日間実施となります。ただし、教育学部学校教育課程発達支援教育コース及び医学部看護学科は、受験者数によっては2月25日の1日で終了する場合があります。
- ※2 医学部のみ3月12日・13日の2日間実施となります。ただし、受験者数によっては3月12日の1日で終了する場合があります。

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

〒889-2192
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学生支援部入試課
電話 0985-58-7138
ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp>